

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



## 人権標語 皆さんが感じたことの紹介

今回は2年生の感想を一部紹介していきます。

- ☆人権標語を見て、四中にはこんなに人権について考えている人がいるんだと驚いた。自分の中に、そういう考えを持つ勇気が生まれた。
- ☆これからも生活していく中で、「すべての人々には人権がある」ということを忘れずに生きていたい。
- ☆人権というのは複雑な問題で、「誰もが笑って過ごせる世界」というのはまだまだ遠いかもしれない。でも、何もやらなきゃ永遠に現状は変わらないから、一つずつでも自分にできることを増やして、積極的に行動していきたい。
- ☆人権標語を見て、今の人権課題がわかった。「そんな問題もあるんだ、、、」と自分の知らなかった問題も見えてきて、今までの自分はどうか振り返る良い機会だった。「もしかしたらやっていたかも、、、」というところもあったから、これを機に直して人権についてもう一度よく考えていきたい。
- ☆これを読んだときに、結構心に來た。思っているだけじゃ意味がないから、そのような光景を見たら行動に移していこうと思う。
- ☆やっぱり人権はとても大切！！人の気持ちを考えて行動することが大事だと思いました。日常生活から、相手が嫌がるようなことはしないことを意識したい。
- ☆人は、一つの単語で差別扱いになることが多いし、相手が傷つくだけものだから、自分も含め、全員で気を付ける世の中にしないといけないなと思った。
- ☆今の時代、多様性やネットのことが多くて、もし自分が言ってしまったら、相手がどんな気持ちになるか、もし、自分が言われたらどうすればいいかと思った。でも、自分から言ったりしなければ、相手を傷つけることはないので、ネットでも人の悪口は言わないようにする。
- ☆デジタルタトゥーには、自分の人生がかかることもあるから、本当に気を付けたいと思った。
- ☆これからの時代を作っていくのは私たちだから、「男だから」「女らしい」とか、そういう言葉で傷ついている人がいるというのを一人一人意識することが大切だと思った。
- ☆標語を読んで、ギクッとしたこともあったので、改めて人権のことについて考えようと思った。人が嫌がるようなことはしない！！差別はなくす！！
- ☆特に高齢者の人権、偏見はしてはいけないと思った。「ろうがい！」「クソじじい！」など、人生の先輩に言うことは、ありえないなと思った。

☆ネット上の悪口問題についての考えが深まった。男女、高齢者、外国人、そういった差別の壁を無くしていくべきだと思った。少しでも自分のできることをして、人々が笑って過ごせる世の中にしたい。

☆18番の標語を見て、そういう言葉とかから変えていかないといけないと思った。標語を見て、新しく知ることだって、知識を増やすことも人権意識を高めることにつながるのかなと思った。

☆笑顔でいる人も、“どこかで涙を流している”かもしれないって考えると、自分の発言する言葉や、行動一つの重みがすごくわかる。人生は戻ってこないし一度きりだから、後悔の無いように生きたい。

☆誰にでも人権はあるし、私たちはそれを守っていかないといけないのだと、改めて思いました。犯罪者に対する偏見が自分にもあるから、直そうと思いました。

☆人権の大切さを改めて感じた。差別は人をつぶすだけで、何も生まないと思った。人のことを考えられない人にだけはなりたくない。

☆私はSNSをよく使用するので、「ネット上の人権侵害を無くそう」の部分をよく考えてみました。一つの軽い気持ちで書き込んだアンチコメント、それが火種になり、何の罪もない人が大炎上して、その人の人生を奪ってしまう。言葉はどんな強い武器よりも深い一生残る心の傷を簡単に作ってしまう。だからこそ、SNS上ではリアルよりも他人への思いやりやリスペクトが必要になると思いました。

☆差別的な言葉遣いや、相手が笑っているからって「べつにいいや」って流す人にしっかり人権を教えたいし、自分も学んでいこうと思う。

☆人間はひとりひとり個性があり、違うのは当たり前なのに、周りと比べて差別をしたりしているのは、良くないし、すぐにやめるべきだと思う。ネットでは大丈夫だと思ってアンチコメントする人が多いし、それが原因で精神的に追いつめられてしまうケースもよくあるから、ひとりひとりがそういうことをしないことを意識した方がいい世の中になっていくと思います。

☆自分にささる標語もあり、ハッとさせられた。少しずつ、人権チェックに引っかからないような人に戻っていきたい。

☆自分ができることが、他の人もできるとは限らない。多様性の認め合いが大切だと思う。

☆心にささることばがたくさんあって、確かに、と思うようなものがたくさんありました。これからも自分は、人を大切にしていこうと思いました。

☆いろいろな言葉に心を打たれて、誰でも楽しい社会を作っていけたらなと思った。

☆どの標語も的を射ていると思った。こんなにたくさんある標語でも、大体が自分の身の回りで起きていることで、共感できるものも多かった。これらを読んで、自分も言われる側にならないように発言や行動には十分に気を付けていきたい。